
青い紐

虫松

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青い紐

【Nコード】

N3922BA

【作者名】

虫松

【あらすじ】

飼っている犬のジョンが青酸カリにより毒殺された。

飼い主、亜希子は犯人を探して欲しいと主人公に依頼する。

恐ろしい、復讐劇が始まろうとしていた。

プロローグ

グルグルグ ウ〜〜 ワン！ワン！

真夜中、今夜は三日月、月明かりに照らし出された
黒い怪しい影に吠える犬。

犬は黒い体毛に赤い首輪を付けられている。
ドーベルマンという大型犬である。

ドッサ！

全身黒の洋服と覆面をした男は
肉を調理したものを犬の前に放り投げた。

クチャクチャクチャ

ドーベルマンはお腹が空いていたらしく、犬を貪り全部食べた。
黒い男は、物取りではないらしい。犬が全部食べるのを満足そうに
見ると、
屋敷をの門より静かに去っていった。

そして翌朝犬は死んでいた。
白目を向き横倒しに倒れていた。

「キヤーーーーーッ！！」

家政婦に悲鳴により、屋敷の主 宮條 信子夫人と娘、宮條 亜希子は目を覚ました。

「何事なの！」

信子夫人はベランダより家政婦、櫻井祥子へ声をかけた。

「ジョンが死んでいます」

泣き崩れる家政婦、櫻井祥子。夫人は直ぐに警察へと通報した。

娘、亜希子は急いで階段を降りてジョンの元に駆け寄りジョンを抱きしめた。

ジョンははく製のように動かなく冷たく硬直していた。口からはヨダレが垂れている。

「ジョーーーーーン、何で何でなの」

亜希子は天に向かい叫んだ。

ジョンは10歳になる老犬。亜希子の家族の一員であった。

そして、宮條家へとパトカーが駆けつけた。

この小さな離島で起きた大事件の幕開けである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3922ba/>

青い紐

2012年1月10日05時45分発行